

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年12月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105073
法人名	有限会社 いろいろ
事業所名	グループホーム いろいろの家
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上6丁目20番30号 (電話) 099-262-4647
自己評価作成日	令和3年11月4日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年11月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、鹿児島市南部郊外の静かな住宅地に位置しています。近隣には郵便局・スーパー・大学等が在り、衣料品店やスーパー等に入居者様と一緒に買い物に出かけたり、住宅地を散歩したりして穏やかに過ごしています。入居者様の生活を安心・安全に送っていただくため、身体拘束・高齢者虐待防止、感染症予防、安全管理に関する委員会を立ち上げ定期的に研修を行い入居者様の支援に反映できるように、知識・資質の向上に努めています。また、ご家族や地域の方々との交流を深めていただけるように、季節の行事や運営推進会議等への参加の呼びかけを行っており、遠方にいらっしゃるご家族様へは毎月お便りを発送しています。入居者様への健康管理については、かかりつけ医との連携を密に図り、当ホームの看護師を中心に看取り介護にも積極的に取り組んでいます。これからも入居者様・ご家族の方々が安心して「ゆっくり・楽しく・一緒に」という思いが叶えられるようなホームづくりに取り組んでいきます。

- ・当施設は2階と3階にあり、設立時から住民が協力的で施設が地域の集会場になっていた。
- ・理念は「いろいろの灯のように暖かく温もりのあるサービスで…ゆっくり、楽しく、一緒に」を掲げ、利用者とは会話するときもゆっくり、業務を行うときもゆっくり、笑顔で楽しく利用者と一緒に暮らすことができるように支援している。
- ・利用者を個別に記録し、A3用紙に誰が見ても把握できるような暮らしぶりの一週間分を記録している。食事の摂取量やトイレの時間、回数を記録している。医療連携体制のときも一日の流れが明確で、主治医や看護師も状況がわかるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念に基づき、近隣の方や地域の方との交流を設けられるように意識している。ケアについては常に理念を基準にしたものを提供していけるように考えて、実践しています。	理念は事務所・ホール・玄関に掲げ、朝礼が終わった後で、理念の唱和をしている。地域との関わりを大切にして、「ゆっくり・楽しく・一緒に」との理念のように利用者ペースで支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会への協力（毎月の資源物の回収）を積極的に行っています。また、地域の清掃活動への取り組み、日常的な挨拶も励行しています。	町内会に加入している。町内会でダンボール資源物の回収に参加し地域に奉仕している。敬老会の時も以前は近所の方にお知らせしていたが今は内部だけで開催している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や広報誌等でホームにおける活動内容の報告を行い、地域の方々への理解に取り組んでいます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回のペースで運営推進会議を開催。活動状況、事故報告等を行い、参加委員の方々にご意見をいただいてサービスの向上に努めています。	会議は2ヶ月毎に開催し、事業所の状況や外部評価結果報告等を行い、委員に意見を貰っている。資料を直接家まで持参して会話したり電話で意見や要望を聞いたりして、意見はサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の実施する説明会や研修会には積極的に参加しています。入居者様と関係機関の仲介役として連携を図れるよう努めています。	市の担当者には窓口に出向いたり電話で相談や助言を貰っている。研修会は積極的に参加し、ズームでの研修会でも連携を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員が中心となり身体拘束の知識を学び、職員間の共通認識を図っています。また、日々のケアを振り返り身体拘束を行わないケアに取り組んでいます。	身体拘束廃止委員会を年4回定期的に開催している。指針を整備し、服薬での拘束やスピーチロック等を中心に研修を行っている。職員はケアを振り返り、身体を拘束しないケアに取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせず、外出希望の時は職員が同行している	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会等を通して「虐待」への理解を深めています。また、日々の支援の中で虐待防止への意識を持ってケアに取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	入居者様一人ひとりの人権を尊重し、どのような境遇の方でもその方にふさわしい支援を行っています。又、後見人や権利擁護等についても理解し、支援に取り入れています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、又は事前にお話をさせていただき入居者様、ご家族の理解・納得を得られるように努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様との日々の会話やご家族訪問時に意見、要望を伺い運営に活かしています。また、運営推進会議にも入居者様、ご家族を招き、外部の方に意見を伝えられる機会を設けています。</p>	<p>利用者からは日常の関わりの中で意見や要望を聴いている。家族からは面会時に玄関先で話したり、電話やメールで要望を聞き、運営に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者から代表者へ随時報告・相談を行っており、それを踏まえ現場で検討・実行、そして報告を行うという体制をとっています。</p>	<p>管理者は話しやすい環境を作り会議でも意見が多く出ている。要望でモバイルを購入して、マスクで職員の口の動きがわかりにくかったが、動画の口腔体操でわかりやすくなった。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を積極的に行っています。取得後は、手当として給与等に反映するだけでなく、本人の意向を重視しながら職場内で活かせる労働条件づくりに努めています。また、職員間の交流、気分転換が図れるよう、食事会（飲み会）等の場を設けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修を積極的に受けられるよう機会の確保に努め、更に各種委員会活動を通して職員一人ひとりの資質の向上を図っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>スタッフが研修等を積極的に行える様、研修等の案内を掲示したり、申し送りとして提供している。また、該当するスタッフへの相談も行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前、入居時のアセスメントを心掛け入居者様の意向に沿える支援の提供に務めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>上記と同様ご家族の意向も聴かせていただき信頼関係の構築を図っています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>アセスメントを通して本人、家族の意向、これまで利用してきたサービスを把握し入居者様に最適な支援が提供できるよう努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>画一的なサービスになりがちですが、掃除や調理など職員と共に活動できるよう取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との対話も大切にし、その時々のご家族の意向を確認し、入居者様の支援に繋がられるように務めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の意向を大切にし、入居者様との会話の中から馴染みの方や場所を把握し関係性の継続を図っています。	地域の友人に会いに行ったり馴染みの店に買い物や美容室に行ったり、手紙を自分で書いたり、電話で家族と会話している。馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係の把握はスタッフにて共有している。入居者様ができる限り不安や混乱が少ない生活を送れる様、座席の配置や居室の位置等も環境の一つとして検討しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	当サービスの契約が終了しても、相談や機会があれば面会に伺ったり、ご家族様へのアフターフォローもしっかりと行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント、モニタリング、日々の活動を通して入居者様の意向の把握に努め、ご家族への理解を求めています。	思いや意向を個別に聞き、表情や仕草からも把握し、申送りノート・気付きノートで利用者の意向の把握に努めている。困難な場合は介護相談員の助言や家族に相談してスタッフ会議で話し合い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人様やご家族様、各関係機関等にアセスメントをとっている。情報をもとにできる限りサービスに活かしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ホームでの生活パターンや性格等を把握し、入居者様お一人おひとりが穏やかな生活を送って頂けるように支援に活かしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントを行い情報収集した上でスタッフ間で話し合い、ケア等の方向性を決め、ご本人様・ご家族様、関係機関へと説明・同意をもらっている。修正ある場合は速やかスタッフ間で話し合いを行っています。	本人・家族の意向を確認し担当者会議を開き、主治医の意見を入れて、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月で行っている。状況に変化があった時はその都度行い、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	時間、活動ごとに記録に残しており、特記事項があれば連絡ノートに転記して周知、実践を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	基本、ケアプランに沿った日常生活のサービスと入居者様の変化に応じたケアを全職員で実践している。また、様々な機関等のサービスを用い、本人様に沿った生活を提供しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の広報紙や運営推進会議から情報収集を行い地域資源の把握を行い、入居者様の満足度を高める支援の提供を心掛けています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療前に入居者様の状態把握に努め、主治医に報告し、診療後の状態報告を入居者様、ご家族に行うようにしています。	かかりつけ医は入居時に話し合いをして支援している。訪問診療は5ヶ所から往診に来てくれる。医療機関から毎月2回。他科受診は家族が付き添ったり、職員が付き添う時もある。受診後は家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の状態を看護師に報告・相談することが出来ています。今後も医療職と連携を取りながら入居者様の状態管理を行っていきます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>本人様のアセスメントや入院前の本人様のご様子を入院先に情報提供を行う。入院前後の本人様・ご家族様へのフォローも行っている。入院後は定期的に状態確認を行い、退院に向けての早期の対応が行えるように支援しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化・終末期の対応についてご家族に丁寧に説明させていただき理解を求めています。診療経過をご家族にお伝えし状態の相互理解にも務めています。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に家族に説明して同意を貰っている。終末期になると医療連携や家族への段階的な説明をして家族の意向に沿った支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入居者様の急変、事故発生時の連絡網、離設時のマニュアルを備え、勉強会等を通じて実践力の向上を図っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害訓練（火災）を年に2回行っている。災害対策はマニュアルを作成し、対応する。地域の方にも災害対策の件についてお話をしたり、協力を頂けるようお伝えしています。</p>	<p>年に2回消防署の指導の下、昼夜を想定して実施している。デイサービスの施設も協力している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置、運営推進会議のメンバーも参加している。近所との連携もとれている。備蓄に水・米・缶づめ・インスタント食品、ガスコンロ等を用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様への声掛けは日々気を付けて対応しています。尊厳の保持を念頭に全職員が入居者様への敬意を忘れない様接遇に気を付けていきます。	人格を尊重した研修を毎月1回開催している。個々に合わせた支援でプライバシーの確保や言葉かけ・接遇に気を配って支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の中で食べたい物・期待すること、要望等一人ひとり思いに添えられる様に支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人様や他入居者様に問題や悪い影響がない場合を除いて、基本的に本人様の意思を尊重している。又、日常生活が大きく変化し混乱しないようにも配慮しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服の選定や散髪の手配を立てたり、髪をとかしたり、ひげそり、化粧等、それぞれのできない部分をお手伝いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備・片付けを入居者様と一緒にしています。食事職員と一緒に和やかな雰囲気です。誕生日メニュー、行楽弁当も入居者様から好評をいただいています。	配膳や下膳を職員と一緒にしている。菜園があり旬の食材を使用している。食事を楽しむために行事食のおせちや誕生会・行楽弁当等を提供し、梅シロップ等と一緒に作って、楽しく食事を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の把握を毎食行って状態管理をしています。日ごとの水分摂取量も職員間で確認して把握に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。必要時は歯科往診等行っていただく。夜間は義歯の方は洗浄剤につけて保管しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の自立に向けて、排泄の声掛け・排泄量、形状の確認を行っています。自尊心を損ねないように接遇にも気を付けて取り組んでいます。	個々の排泄パターンを把握し、日中は声かけを行い、トイレでの排泄を支援している。羞恥心や自尊心を損ねないように排泄の自立に向けた支援を行っている。排尿・排便を感じない利用者には様子観察をのがさないようにして声かけ誘導をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の声掛けでの排泄確認や掃除の際の目視を通して排泄状況を確認しています。便秘の際は水分摂取の声掛けや医療職への報告を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴回数や曜日等の調整をしながら、入居者様が楽しめる支援に取り組んでいます。	入浴は週に3回午前中に支援している。菖蒲湯や入浴剤を使用して楽しんでいる。好みの石鹸を使っている。歌をうたったりおしゃべりをしながら入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動をできるだけ行えるようにして頂く。また、寝たきりにならない様にホールにて座位時間をできるだけ過ごして頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎食後、服薬管理を行い服薬忘れの防止を図っています。内服薬の理解が高められるよう医療機関との連携や勉強会を通じた取り組みに努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活にて好きなものを食べたり飲んだり、洗濯物たたみや配膳下膳を手伝って頂いています。また、毎月の行事、誕生会等を行い、ホームでの生活がマンネリ化しないように工夫を凝らしながら気分転換を図っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>施設の庭にてゆっくり団らんしたり、近くのスーパーに出かけて欲しい物を購入したりしている。本人が出掛けたい、場所や行きたい所へはできる限り要望に添えるよう努めている。</p>	<p>コロナ禍にあり現在は外出できないが、個別に近隣の公園に出かけている。年間計画を立てて壁画を見に行ったり、YouTubeでバラ園や映像を楽しんでいる。天気の良い日は希望を聞いたりして近所を個別に散歩をしたり、ドライブも個別に行い車から外を眺めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物支援を通してお金の大切を理解していただくと共に物を購入する喜びを感じていただけるよう支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>施設よりお便りを出したり、ご家族様へ本人様からお手紙や電話でのお話を行っていただいている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>空気清浄機、消臭剤の設置や暖簾をトイレ・浴室・居室に設置したりしている。冬場には加湿器を使用したりと、採光や音楽（BGM）等の環境が心地よい様に行っている。</p>	<p>ホールは定期的に換気をして空気清浄機やエアコンを使用している。季節感のある飾りや鯉のぼり等を折り紙で作り音楽を聞きながら楽しんでいる。ソファや畳のコーナーもあり、好きな場所でゆっくりとくつろげる空間である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間（ホール）では、入居者様同士の関係性等を考慮して席配置を行っている。独りになりたい希望がある方は居室にて過ごして頂いているが、お茶や食事時には声掛けにてホールで過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたものや好みの物を居室に置き、生活を過ごし易いようにしている。又、動線や怪我や転倒に繋がらない様に模様替えしている。</p>	<p>ベッドやエアコン・クローゼットが設置してある。家から持ち込まれたテレビ・扇風機・電気ストーブ・家族写真・ポット・時計・ぬいぐるみ等が置いてあり、本や月間誌を読んでいる利用者もいる。居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>お一人おひとりの出来る事や分かる事を把握し、本人様にできることはできる限り自ら行って頂けるようにケアを行っています。無理のないようその時の状態の把握は常に行うように努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない